

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 38 号
2014 (平成26) 年4月19日 (土)

楽しい論語

千歳市立高台小学校4年 街道 夢

私は、いつも論語塾に行くのがドキドキします。こどもの声発表会でも、はずかしくて台の上でないてしまいました。でも、「寺子屋・こども論語塾」にかよいはじめてからは、人前ではなすのが少しずつなれて来たと思います。学校でも手をあげて発表する回数がふえて来ました。

「坐禅」では、さいしょ足のうらがピリピリしたり、いたくなつたこともあります。だけど、家でたくさん練習したりしていくうちに足がだんだんなれてきました。今ではすぐ足を組めるようになっているのでとてもうれしいです。坐禅の何も考えない時間は気持ちのいい気分になります。

「論語」の学習は、新田先生の読み方をまねしてそどくします。そどくのおかげで本を読むことが好きになってきました。今では学校の教科書を読むのが上手になってきて、じしんが少しくまりました。ノートをつつすのも、新田先生がわかりやすくせつ明して書いてくれるのでおぼえるのが早くなりました。論語塾にかよってよかったなと思います。お友だちもふえたので、これからもなかよくしたいと思います。

孔子先生のことたくさん知ることができました。論語の教科書全部おわるまでどれくらいかかるのかな。あと10年いじょうかかるのでしょうか。その間に、人にやさしいことをしたり、しんせつにしようと思います。なので、たくさん遊んでたくさん勉強して、仁の心をもった君子になりたいです。

※ なお、来月(5月)は前鼻 綾音さんをお願いします。

さんにおこな かなら わ しあ
三人行 えば、必ず我が師有り。

そ よ もの えら これ したが
其の善き者を択びて之に従い、

そ よ もの これ あらた
其の善からざる者にして之を改む。

寺子屋・こども論語塾主宰 新田 修

新学期が始まりました。新しい友達との出会いを大切に、仁の心を持って一日も早くそれぞれの環境に慣れるよう努力してほしいと思います。

冒頭の言葉は、間もなくやることになる論語・述而第七・二十一章に出てくる章句です。「三人で行動していれば、他の二人から必ず教えられることがあるはずで、長所があればそれを見習えばいいし、短所があれば自分の反省に役立てればよいのです」という意味です。

新しいクラスの友達との出会いで、この言葉の持つ意味を重く受け止め、有意義な学校(幼稚園)生活を送ってほしいと願っています。

さて、今月も先月に続いて論語とは直接関係ありませんが、塾生の皆さんにとって今後、役に立つと思われる事例を幾つか挙げてみました。

一点目は、英語の発音について、よく間違える人が多い例を1つ挙げます。(これは今から十数年前、ある有名私立高校の入学試験に出題されたことがあります)

● woman[wú:mən] [名] 女性→複数形 women の発音は右のどれか [wú:men]、[wí:min]、[wú:men]
ex. man[mén]→men[mén]

二点目は、間違えやすい 諺 です。(これは数年前、ある会社の入社試験に出題されたことがあります)

● 口先三寸 (くちさきさんすん) ● 舌先三寸 (したさきさんすん)

意味は「口先だけでうまく相手をあしらうこと」または、「言葉巧みに相手をごまかすこと」
新学期を迎えて、何かの役に立てば幸いです。